

警察署名	常設番號	警察署名	常設番號	警察署名	常設番號
四宮	三三	篠山	三三	洲本	三三
龍野	三三	村岡	三三	福崎	三三
福崎	三三	加古川	三三	洲本	三三
柏原	三三	宮川	三三	洲本	三三

三等三四 五十本

警察署名	常設番號	警察署名	常設番號	警察署名	常設番號
相生橋	三三	明石	三三	三木	三三
淡川	三三	西宮	三三	加古川	三三
淡川	三三	西宮	三三	加古川	三三
兵庫	三三	西宮	三三	加古川	三三
須磨	三三	御影	三三	魚崎	三三
林田	三三	影宮	三三	福崎	三三
林田	三三	影宮	三三	福崎	三三
林田	三三	影宮	三三	福崎	三三
姫路	三三	伊丹	三三	網干	三三
尼崎	三三	伊丹	三三	網干	三三
尼崎	三三	伊丹	三三	網干	三三
八尾	三三	寶塚	三三	八尾	三三
洲本	三三	市村	三三	那波	三三

三、第二回狂犬病豫防週間實施顛末

カクテ漸ク御大禮モ通りタル十月ニ於テ御大禮關係府縣聯合豫防週間ヲ開催スベク十月一日ヨリ七日マデ一週間第二回阪神間豫防週間實施ヲ計畫シ左ノ如ク縣令及告示ヲ發シテ、實施地域及買上金等ヲ公示セリ

兵庫縣令第四十五號

家畜傳染病豫防法第十六條ニ依リ狂犬病豫防上必要アルヲ以テ左ノ區域内ニ於ケル犬ノ所有者又ハ保管者ハ昭和三年十月一日ヨリ同月七日ニ至ル間其ノ犬ヲ繋留スベシ、但シ口網ヲ附シテ牽行スルモノハ此ノ限りニ在ラズ

昭和三年九月廿一日

知

事

記

一、葦合、三宮、相生橋、湊川、兵庫、須磨、林田、尼崎、明石、西宮、御影、芦屋、伊丹、寶塚各警察署管内

兵庫縣告示第五九八號

狂犬病豫防ノ爲昭和三年十月一日ヨリ同月七日迄七日間毎日午前九時ヨリ午後三時迄左記要領ニ依リ狂犬病豫防週間ヲ實施シ、野犬又ハ不要犬ヲ提供シタル者ニ對シ買上金ヲ交附ス

昭和三年九月廿一日

知

事

左記

一、地域 葦合、三宮、相生橋、湊川、兵庫、須磨、林田、尼崎、明石、西宮、御影、芦屋、伊丹、寶塚

二、買上金(一頭ニ付)

大犬 金五拾錢

小犬(生後三ヶ月以内) 金貳拾錢

三、取扱場所 所轄警察署

記

一、實施ノ目的

今回ハ御大典關係ノ三府六縣聯合ニテ一齊ニ施行シ徹底的ニ狂犬病ノ發生ヲ未然ニ豫防スル趣旨ニシテ大要左ノ三項ニ分チテ之ヲ行フ

(1) 畜犬ノ整理

(2) 狂犬病豫防注射ノ普及

(3) 野犬ノ掃蕩

- 二、畜犬ノ整理ハ去七月狂犬病豫防週間ノ際之ヲ施行セシモ其ノ後異動アリタル分ヲ週間前ニ整理スルコト、狂犬病豫防注射ニ就テハ今回實施ノ區域ハ本年春以來一巡施行済ナルモ注射洩其ノ他異動アリ、尙生産後幼齡、並ニ疾病、産前産後等猶豫シタル畜犬ニ對シテハ更ニ九月二十一日以降十月七日迄ニ全部ニ互リ實施スルコト、野犬ノ掃蕩ハ本年七月狂犬病豫防週間ノ際多數捕獲セルモ尙其際捕獲洩レ或ハ他ヨリ轉入若クハ生産等アル見込ニ付此際一頭モ洩レナク捕獲スルコト
- 三、新聞掲載
  - 新聞ニ掲載シテ一般ニ周知セシムルコト、地方新聞ニ在リテハ當該警察署長ヨリ宣傳掲載方ヲ交渉スルコト
- 四、繫留ニ要スル鎖及頸輪ハ從來配布セル分ヲ使用シ不足ノ場合ハ便宜針金ヲ購入使用スルコト
  - 獲捕買上ヲナシタル犬ハ三日間繫留ノ管ナルモ所有者アリテ不要トシテ提供シタルモノハ即日藥殺ヲナスコト、而シテ犬ヲ繫留スル場所ハ材料借上料トシテ一警察署、金式圓内ニテ臨時急造シ置クコト
- 五、野犬買上臺帳ハ本年七月豫防週間ノ際同一様式ニヨリ豫メ作製シ置クコト
- 六、警察署長ハ關係市町村長ト豫メ打合會ヲ開キ協力シテ實施上遺憾ナキヲ期スルコト
- 七、縣令ニ基キ期間中ハ畜犬ノ繫留ヲ勵行セシムルコト若シ繫留セザルトキハ野犬若クハ浮浪犬ト見做シ全部捕獲スルコトヲ豫メ警告シ置クコト
  - 以上期間前ニ實施スベキ事項ニ就テハ豫メ手配シ置クコト
- 八、豫防週間中ハ週間前ニ引續キ畜犬ノ整理ヲ完成スルコト
- 九、期間中ハ特ニ野犬ノ掃蕩ニ全力ヲ傾注スルコト
- 十、豫防注射ハ本年未注射ノ犬ヲ狩リ出シ神戸市内ニ在リテハ週間中毎日縣衛生課ニ牽付ケ施行ヲ受ケシムルコト
  - 神戸市以外ノ地方ニシテ技術員駐在ノ警察署ニアリテハ當該技術員ニ技術ヲ受ケシムルコト
  - 其他ノ地方ニ在リテハ縣ヨリ技術員ヲ派遣シテ注射ヲ施行セシムルノ豫定ナルモ全部週間中ニ施行シ難キトキハ更ニ日割ヲ定メ十月中ニハ全部施行ノ見込ミナルモ便宜地方開業ノ獸醫師ニ就テ施行ヲ受ケシムルモノナリ
- 一一、所有者又ハ保管者ノ判明セル犬ハ其旨本人ニ通告シ之ヲ受領セシム此ノ場合ト雖モ獲捕人ニ對シテハ買上金ヲ交付ス
  - 三日間繫留シタル後ハ毒殺ス技術員駐在ノ警察署ニアリテハ當該技術員ニヨリ其ノ他ニアリテハ本廳ヨリ技術員ヲ派遣シ若クハ派遣ナキ場合ハ便宜捕獲人夫等ヲシテ適當ニ處置セシム
- 一二、買上野犬繫留中ノ飼料費ハ一日一頭ニ付金貳錢ノ割合ニテ支給セラル、管ニ付期間終了後請求セシムルコト
- 一三、期間終了後ハ左ノ雜形ニヨリ速ニ本廳ヘ報告スルコト

左記雜形

狂犬病豫防週間實施成績表

署名

買上	頭數		戶口的畜犬調査表	豫防注射頭數
	大	小		
		計	新届出	
			既届出	
			計	

備考 買上犬中畜主ニ返還シタル犬 大何頭 小何頭  
 而シテ其ノ實施成績ハ別表ノ如クニシテ、農林大臣、内務大臣ニ宛テ獸檢發第一二九號ヲ以テ十月十二日ニ詳細報告ヲナシタリ  
 又關係府縣、隣接府縣、既定各官衙及神戸市、外三市長宛關係署長宛夫々實施成績ヲ送附セリ  
 自十月 七日

狂犬病豫防週間實施成績表

署別	買上		計	戶口的畜犬調査		計	豫防注射頭數
	大	小		新届出	既届出		
森宮	三	三	六	一〇一	一〇一	一〇一	一〇一
三橋	七	二	九	八〇	八〇	八〇	八〇
相生	三〇	一	三一	九	九	九	九
相川	一八	一	一九	一六	一六	一六	一六
湊川	一	一	二	五	五	五	五
兵衛	一〇	一	一一	四	四	四	四
須磨	一	一	二	一	一	一	一
林田	一	一	二	一	一	一	一
明石	六	一	七	九	九	九	九
石宮	三	一	四	七	七	七	七
四宮	三	一	四	七	七	七	七
御影	三	一	四	七	七	七	七
計	一一	一	一二	一〇	一〇	一〇	一〇

要項	買上頭數		戸口の畜犬調査數		豫防注射頭數
	大	小	返還	新届出	
青屋	二〇	五	大 三、小 一	三	一〇
伊丹	一	二	大 三、小 一	三	一〇
寶塚	一	二	大 六、小 一	三	一〇
計	二、〇	七	大 六、小 一	三	一〇

四、炭疽豫防計畫及實施顛末

本年六月廿二日、廿三日、京都府廳ニ於テ開會セラレシ御大禮關係府縣炭疽及狂犬病豫防協議會ニ於テ

既往三ヶ年間ニ於ケル炭疽發生地域ニ對シテハ牛馬其他ノ家畜ニ對シテ檢診及豫防注射ヲ施行スルコト、又炭疽有病地帯ニ當ル御沿道ハ一週間前ヨリ牛馬其他家畜ノ出入往來ヲ停止スルコト、但シ炭疽豫防注射ノ證明書ヲ有スルモノハ之ヲ除外スルコトヲ指示セラレタリ

元來本縣ハ御大禮關係府縣ト交通上密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ其ノ豫防警戒ヲ常ニ怠ラズ八月二十三日、獸檢發第一〇〇號ヲ以テ關係町村長及畜産組合長宛ニ御大禮ニ際シ炭疽豫防ニ關スル件通牒ヲ發シタリ、即チ大正十四年以降ノ炭疽發生地域ニ於テ京都府ト牛馬ノ出入往來アル地方ニ於テハ豫防注射ヲ受ケシムル爲ニ其ノ町村内ニ於ケル牛馬羊豚其他ノ家畜ニシテ同府下ニ出入ノ有無ヲ照會シタリ、併シ之ニ關シテハ該當事項無カリキ

(1) 本縣既往ノ炭疽發生狀況

昭和三年八月一日附ヲ以テ第十師團獸醫部ヨリ炭疽發生狀況及豫防法並ニ其ノ實績ニ關スル照會アリタルヲ以テ九月三日獸檢發第一〇號ヲ以テ回答セリ、コレハ本縣ノ炭疽發生狀況ヲ詳細ニ述ベタルモノナルヲ以テ茲ニ記載スルコト、ナセリ

炭疽發生狀況及豫防法並ニ其ノ實績

(一) 主ナル炭疽發生地方ノ郡市町村名

- 神戸市 夢野町
- 姫路市 城北伊傳居、城北原野
- 武庫郡 六甲村、大社村、精道村、良元村、甲東村、大庄村
- 川邊郡 伊丹町、川西町、園田村、小田村、稻野村、西谷村、長尾村
- 飾磨郡 飾磨町、高濱村、曾左村、置塩村、谷外村、花田村、水上村、糸引村、四郷村、英賀保村、高岡村、八木村、城南村、夢野村、荒川

村、安室村

- 神崎郡 福崎村、甘地村、豊富村、香呂村、砥堀村、
- 揖保郡 揖保村、太市村、掛西村、神岡村、石海村、譽田村、林田村、小宅村、余部村
- 朝來郡 梁瀬町、枚田村
- 氷上郡 幸世村、芦田村
- 三原郡 大野村、塚村

(二) 炭疽發生ノ原因徑路傳播ノ狀況

(イ) 季節 季節ニ於テハ特別ナル關係ヲ有セザルモノノ如シ、今大正十二年ヨリ昭和二年ニ至ル五ヶ年間縣下ニ於ケル炭疽發生數ヲ月別累計ニ示セバ比

月別	發生數	月別	發生數	月別	發生數	月別	發生數
一月	三	四月	六	七月	三	十月	二
二月	八	五月	九	八月	二	十一月	一
三月	五	六月	九	九月	三	十二月	二

(ロ) 河流

密接ナル關係アリ即チ川邊郡ノ發生地ニ就テハ猪名川ニ於ケル神崎郡、飾磨郡及姫路市ノ神崎川、市川ニ於ケル、又揖保郡ノ林田川、掛保川ニ於ケルガ如シ

(ハ) 發病ノ機會

破ニ放飼スル家畜ハ感染率多シ、殊ニ縣下ノ頻發地ニ於ケル本病ノ發生ハ感染ノ機會ヲ之ニ得ルモノ極メテ多キモノノ如シ、例之川邊郡川西町、飾磨郡、四郷村、花田村、揖保郡神岡村、譽田村、掛保村等ニ於ケル皮革、膠製造業者ハ河川ヲ利用スルニヨリ病菌ハ河水ヲ汚染シ、又河原ノ沮洳地ニ存留シ之ガ病原トナルガ如シ。集散地ニ於ケル家畜モ亦感染率多シ、例之、飾磨郡高岡村等ノ如キ家畜市場ノ所在地及武庫郡芝村等ノ如キ斃獸解体所、化製所ノ所在地ニ於テ發病數多キガ如シ、之ト同様ノ意味ニ於テ牧場ノ如キ集團飼養ヲナセル所ニハ發病數多シ

又種畜場並ニ衛生(防疫)上特ニ留意セル民間牧場ニ於テモ時々本病ノ發生ヲ見ルハ恐ラク飼料殊ニ青草ノ關係ニ依ルモノナラン  
其他同一市内及同一村内ニ於テ(何レモ相當ノ距離ヲ有スル)親戚關係ヲ有スルニ牧場又ハ兩畜主間ニ於テ相亞テ本病ノ發生ヲ見ルハ家  
人ノ相交通スルニ因ルモノナラト認メラル

(三) 主要ナル病狀經過

縣下(一般)ニ發生スル本病ノ多クハ其ノ症候頗ル急性ニ屬シ從テ時々定型の症狀ノ一部ヲ欠キ若クハ之ヲ認ムルノ迫ナキコトアリ、然レドモ  
此ノ場合ニ於テモ末梢血管ヨリ採血鏡檢スレバ常ニ炭疽菌ヲ檢出スルハ勿論ナリ

(四) 豫防法實施狀況及其ノ實績

1、發病届出履行ノ狀況

診斷(若クハ檢案)セル獸醫師(開業、畜産組合技手、農林技手)ヨリ警察署又ハ家畜防疫委員ニ届出ツ

2、防疫業務管掌狀況

A、家畜防疫委員及警察官吏ノ指揮ニヨリテ市町村吏員主トシテ之ヲ掌ル

B、家畜防疫部ハ本縣衛生課獸畜係中ニ置キ專任トシテ地方技師一、防疫獸醫三、家畜防疫委員(獸醫師タル)四、以上國費、衛生技手二

又必要アラバ臨時ニ警察官吏(署長及衛生係)ニ家畜防疫委員ヲ命ズ

C、畜産組合等ニ配置セル農林技手家畜防疫委員ヲ命ズルヲ以テ農會、畜産、組合等トモ關係アリ

3、斃獸(炭疽病獸)ノ發生消毒實施等ノ狀況

本病獸ノ屍体ハ法規ニ基キ燒却シ、獸舎ハ消毒ス

其後ハ成可ク場所ヲ變更セシメ止ヲ得ズ再使用セントスル場合ハ少クトモ數ヶ月(通常三ヶ月)ヲ經テ許ス其間數次畜主ノ自發的消毒ヲ行  
ハシム

排泄物、敷藁ハ燒却ス

牛馬具、手入具等ハ消毒又ハ燒却ス

飼料(發生畜舎ニ使用セルモノ)ハ燒却ス

4、隔離實施ノ狀況

(○) 病獸及罹疫疑獸ニ就テハ縣下ニ發生スル本病ハ其ノ經過甚ダ急性ナルニ依リ隔離ヲ家施スベキ迫全クナシ、感染疑獸ハ牧場ニテハ之

ヲ隔離倉ニ移シ、其他ニアリテハ其儘トシテ健獸ヲ他ノ場所ニ移シ、共ニ直チニ豫防注射(免疫血清)ヲ行フ

(ロ) 豫防注射ヲ直チニ行フニヨリ交通遮斷ハ發生畜舎ニ止ム、牧場ニアリテハ其牧場ニ限ル

(ハ) 豫防注射ヲ行フニヨリ二週間

(ニ) 本病ニ在リテハ家畜市場ハ通常之ヲ停止セズ牛馬商ニ於テモ亦然リ

5、檢疫實施ノ狀況

本病ノ發生時、免疫血清及注射液ノ都合上直ニ豫防注射ヲ用ヒ難キ場合ノ外特ニ檢疫ノミニ止ムルコトナク、豫防注射ノ傍檢疫ヲナス、即  
チ本縣ニ於テハ通常病獸畜舎ノ處置、檢疫豫防注射ノ三ヲ不可分ノモノトシテ行フヲ以テナリ

而シテ其ノ方法ハ視診、觸診、ニヨリテハ体温、並ニ相貌等ノ一般狀態(健康ノ徵)ヲ檢シ、食慾狀態等ヲ問診ス、尙異常アリト認ムル時  
ハ直ニ申告セシム、之ヲ行フニハ個々畜舎ニツキ、又稀ニ便宜小區域ツツ集合セシメテナス、然レドモ實際檢診ニ依リテ本病ヲ發見スル場  
合ハ本縣ニ於テハ極メテ稀ナリトス、是レ前記ノ如ク病狀ガ極メテ急性經過ヲ取ルヲ以テ也、而シテ檢診ハ特ニ告示ニヨリテ行フ場合ナク  
臨機ニ之ヲ行フ、其ノ施行區域ハ發生部落一圓、發生牧場又、隣接牧場、檢診家畜ノ種類ハ通常牛馬羊豚トス

6、豫防注射實施ノ狀況及其ノ成績

本病一たび發生スル時ハ概ネ後三ヶ年間ハ其ノ町村ニ限り豫防注射ヲ反覆施行ス、故ニ頻發地ニアリテハ(牛馬ヲ交換賣却スル等ノ理由  
ニ依リ)結果ニ於テ年々連續施行スルコトトナル、併シ乍ラ未ダ發生ヲ見ザルモ河川其他ノ關係上必要アリト認ムル町村ニ對シテハ之ヲ施  
行ス、實施ニ當リテハ

1、一般ニ縣ニ於テ必要ト認ムル場合ハ告示ニ依リ

2、農會、畜産組合、警察署、種畜場及個人等ヨリ申請ノ場合告示ニ依リ

3、同上ノ場合ニシテ特ニ告示ニ依ラズシテ施行ス

(イ) 縣ヨリ技術員二名、「バ式」(一名ハ注射技術、他ハ檢温等檢診ニ從事ス)「ソ」式共

官衙(技術員アル)等ニ對シテハ時々一名ノ縣技術員ヲ以テスルコトアリ

警察署ヨリ衛生主任警察官及駐在巡查……注射場ノ人畜ノ整理、並ニ技術員職務補助

市町村吏員……注射臺帳記載等

人夫補助……衛部ノ消毒等其ノ他

一日平均一〇〇頭ノ割ニテ同一町村内數ヶ部落ツツ一定ノ場所(河原、小學校庭、墓地、松林等)ニ集合セシメ保定柵、器具器

械等消毒設備(湯沸等)ヲ作ラシム

(ロ) 一般豫防液及血清等應用原則ニ遵ヒ發生畜舎ノ近隣(牧場ナレバ同一牧場)ノモノニ對シテハ免疫血清(緊急一時的)若クバ「ソ式豫防注射別記以外ノ一般部落、(牧場ナレバ近接牧場)ノモノ其他ニ對シテハ「バ式」豫防注射ノ三ツ時ニ隨ヒ應用ス。

(ハ) 實施區域ノ範圍ハ部落ニ止ムルコトアリ、一ヶ町村ニ限ル場合アリ、又數ヶ村ニ及ブコトアリ、家畜ノ種類ハ牛馬羊豚トス

(ニ) 既往數ヶ年間ノ成績ハ一般ニ良好ナリ、之ヲ詳説スレバ本縣ニ於テ大々的ニ本病ノ豫防注射ヲ開始セルハ大正十年ニシテ同年縣下掛保郡ニ於ケル本病ノ發生數二十二頭(縣下四一頭)十一年ハ縣下四五頭ノ内三〇頭ハ前郡内ニ亙リテ發生セリ、之レ同郡ニハ皮革業者多ク、何レモ河川(林田川、掛保川)ヲ利用スルガ爲(原料タル乾皮ハ多ク支那方面ヨリ輸入サレ病毒ヲ有ス)河水河原ハ、木病原菌ニ汚染サレ此處ニ朝夕放牧スル牛馬ハ病原菌ヲ飲水、青草ニヨリテ体内ニ攝取スルニヨルモノナルガ其後豫防注射ヲ勵行セシニ大正十二年十六頭、(縣下三三頭)十三年四頭(縣下二九頭)十四年八頭(縣下三〇頭)十五年九頭(縣下四四頭)昭和二年二頭(縣下十九頭)ノ如ク漸減シ其ノ他川邊、飾磨、兩郡ニ於テモ大正十三年ヨリ多數ノ發生アリシガ、何レモ豫防注射ヲヒタル爲著シク減少ヲ見タリ

又注射ニ依ル反應ハ高熱注射部腫脹ニ食欲減少等ハ年々約一頭位ノモノニシテ何レモ免疫血清ノ治療的應用ニ依リ恢復シ稀ニ斃死セルモノアルモ之トテ純反應トハ認メ難シ

(五) 營業者ノ炭疽ニ對スル觀念

現時ニ於テ牧場等貴重ナル乳牛ノ多數ヲ飼養スルモノハ進ンデ個人又ハ畜産組合ヲ通シテ注射ノ施行ヲ希望申請シ(假令注射多少ノ減乳アルモ)其他一般飼牛馬者モ豫防注射ノ効力ハ充分ニ認メ居レリ、只牛馬曳等ハ注射後短時間ノ休養ヲ厭ヒ、忌避スルノ傾向アルモ之トテ注射ノ効力ハ認メ居レリ

(六) 其他參考トナルベキ事項

縣下ニ於テ人ノ炭疽ヲ見ルコト屢々アリ

大正十年多紀郡ニ於テ牛馬商(男)自家ノ飼牛ヨリ、同年加西郡下里村北條種羊場(國立……現在ハ廢場セリ)ニ羊馬、六七頭ニ炭疽發生セン際剖檢セン獸醫一名發病シ、昭和二年神戸ニ於テ牧場主ノ長男炭疽ニ罹レル乳牛ヨリ傳病シ、昭和三年朝來郡染瀬町農夫自家ノ飼牛ヨリ何レモ感染發病センガ免疫血清ノ應用ニ依リテ全快セリ

其他縣下川邊郡川西町宇火打部落ハ凡テ皮革業者ナルガ數年來年々本病ニ感染死亡スル者アリキ昭和三年モ一名(女兒)ノ患者發生死亡シタリ(2) 脾脫疽患者發生狀況

縣下朝來郡牧田町ニ於テ脾脫疽患者發生シタルヲ以テ詳細ヲ內務、農林ノ兩大臣ニ報告セリ左ノ如シ

獸檢發第百拾七號

昭和三年九月十八日

知

事

內務、農林 兩大臣 宛

脾脫疽患者發生全治ニ關スル件報告

縣下朝來郡染瀬町染瀬原吉太郎ナルモノノ私牛牝二才黒毛ノモノ七月廿五日發病即日斃死セシガ其ノ屍体ハ即日燒却處分ニ附センガ其際同郡牧田村玉置岡田市平ナル者立會シタルニ四、五日ヲ經テ發熱且發疹シタル趣所轄和田山警察署ヨリ電話アリタルニヨリ炭疽血清ヲ送附シ置キタルニ八月廿二日ニ至リ全治シタル旨届出アリタリ、別紙主治醫師ノ報告書相添ヘ爲御參考此段及報告候也

報 告 書

兵庫縣朝來郡牧田村玉置

患者 岡 田 市 平 (四十二歳)

一、病 名 脾脫疽

一、發 病 初診時昭和三年七月三十一日ニ患者ノ言ニヨレバ二日前ヨリ不明ノ發熱アリシト云ヒシカバ恐ラク七月二十八日頃發病センモノト認ム

一、診 定 第二回ノ宅診ニ於テ牛ノ炭疽病ニテ死亡セルモノヲ扱ヒシト聞キ初メテ右側上肢ニ現レン發疹ノ脾脫疽ナルコトヲ認定シタリ

一、徵候及經過 初診時著明ニ表ハレン點ハ第一ニ全身皮膚ノチアノーゼ様斑紋ナリ、依テ附添人ニ尋問セルニ賣藥「アンチヘブリン」ヲ多量ニ服用シテ解熱セント試ミシヲ知リテ皮膚ノ暗紫色ノ斑紋ノ藥物中毒ナルコトヲ知レリ、然レドモ既ニ右側前膊ニ示指頭大ノ水泡數個

不規則ニ排列セルヲ見タリ、コレ恐ラク「ヘルペス」ナラント考ヘタリ。當日脈搏一三二、体温三十九度四分、呼吸稍、頻、甚シク氣力ヲ失ヒ談話モ稍困難ナリ 局部徵候トシテハ右側胸部ニ湯普トラツセルヲ聞キ熱ノ原因ヲ肺炎性變化ニ求メタリ、腹部異狀ナシ 食欲稍衰ヘ不眠アリ

第二回ノ宅診

八月二日、患者ノ氣力ハ稍恢復セリ然レドモ猶三十七度、三十八度七分ノ高熱ニナヤマサル、脈搏九六、呼吸稍頻、チアノーゼ去レリ、前記水泡ハ已ニ乾燥セリ、色、稍、暗褐色ヲ呈ス、更ニ同側ノ上膊ノ前胸部ニ散在性ニ同様ノ水泡ヲ新生セリ、此ノ時脾脫

痘ナルヲ知ル

翌日八月三日患者著シク元氣附キ熱モ著シク降り三十七度六分脈膊呼吸モ從ツテ減少セリ、コノ日ネオ、サルバルサン〇、四五ヲ注射セリ

第五回ノ診察

八月七日ノ診察ニ於テ自覺的及他覺的ニ、甚シク良好ニシテ生命ノ危機ヲ脱セルヲ告ゲ歸ラシム、但シ不眠アリ、水疱ハ全部結痂セリ其後患者ハ自宅ニ於テ自ラ起居シ殆ド他人ノ手ヲワヅラハセズ、依テ服藥ヲ怠リタリ。縣廳ヨリノ血清ヲ和田山警察署ヨリ受ケ患者ヲ督促シテ來院セシメ八月十六日、初メテ第一回注射ヲ行ヒタリシ時患者ハ殆ド健康ヲ恢復シ唯僅カニ水泡ノ跡ニ縋帶ヲ施セルノミ、下ツテ八月二十一日注射部位ノ疼痛ト發赤腫脹ヲ訴ヘタレバ(家人來リテ)取敢ズ濕布藥ヲ投與シ懸法セシム、翌二十一日、患者自ラ來リテ其ノ腫脹部位ヲ示ス、注射部位ハ發赤及輕度ノ腫脹アル外全身ニ散在性小發赤斑點ヲ認ム、依テ何等危惧スルニ足ラズトシテ歸ラシム

其後一回モ來院セズ近隣ノ者ニ聞クニ腫脹去リテ已ニ勞働ニ從事シツツアリト云フ

一、療 法

初診時七月廿一日、強心下熱劑ヲ投與セリ

八月二日、同様

八月三日、ネオ、サルバルサン、〇、三ヲ注射セリ

八月五日、内服藥ヲ與ヘズ、ネオ、サルバルサン〇、四五ヲ注射ス

八月七日、内服藥二日分ヲ投與セリ

八月十六日血清ヲ注射セリ

一、轉 歸 全治セリ(八月二十二日)

(4) 豫防注射實施狀況

前述ノ如ク脾脫痘患者發生ヲ見タル朝來郡梁瀬町、梁瀬町ヲ始メ、既往三ヶ年間本病ノ發生セシ有毒地域ト認ムル神戸市外一市八郡十六ヶ町村ニ於ケル牛、二一四八頭、馬七四頭、綿羊二頭、豚十五頭、計二三三九頭ノ家畜ニ對シ九、十、十一月ノ三ヶ月間ニ亘リテ豫防注射ヲ行ヒ專ラ該病ノ豫防ニ努メタル結果施行區域内ニ於テハ炭疽病ノ發生絶無ニシテ炭疽ノ豫防上好成績ヲ收メタリ

注射施行表左ノ如シ

炭 疽 豫 防 注 射 表

施行月日	施行町村	種別	注射頭數	施行月日	施行町村	種別	注射頭數
自九月二日 至九月二二日	朝來郡梁瀬町外一ヶ村	牛	三五	自九月二五日 至十月六日	加四郡北條町外三ヶ村	牛	二
〃	全	馬	八	自十月十二日 至全	三原郡堺村外二ヶ村	牛	七〇
〃	養父郡宿南村	牛	六	自十月十二日 至全	三原郡堺村外二ヶ村	馬	二五
〃	全	馬	六	自十月十二日 至全	四宮市及武庫郡六甲村	馬	八
〃	水上郡菅田村	牛	一五	自十月十二日 至十月二十八日	飾磨郡餘部村外二ヶ村	牛	六六
〃	全	馬	一五	自十月十二日 至十月三十一日	飾磨郡高岡村縣立種畜場	牛	三
〃	津名郡釜口村	馬	一	十月三十一日	神戸市	牛	三
〃	加四郡北條町外三ヶ村	馬	二	十月三十一日	飾磨郡高岡村縣立種畜場	豚	二
全	全	合 計	二一六	合 計	二市八郡十六ヶ町村	豚	二

第五篇 雜 錄

第一項 大禮施設費配當額及檢疫費豫算及追加豫算

御大禮御舉行ニ當リ万般ノ衛生施設事項ノ遂行ヲ遺憾ナカラシムベク、大禮施設費二、三〇五圓ヲ配當サレタルハ別表ノ如クナルガ、本縣ニ於テハ檢疫費豫算四〇、八〇九圓ノ外、五月ニ追加豫算二八、九二七圓ヲ支出シ、又九月ニ六、六六〇圓ヲ支出シテ「コレラ」「ベスト」「痘瘡」等海外ヨリ我國ニ侵入スル病毒ノ防遏ヲ期シタルガ、九月二十七日神戸港ニ於テ外國汽船中ヨリ「コレラ」患者發生ノ事實アリタルヲ以テ防疫施設擴張増加ノ必要アリテ再ビ八、八八四圓ノ檢疫費ヲ追加豫算ニヨリ支出シタリ

即チ、大禮施設費配當額及、國費、縣費ニヨル豫算及追加豫算、等ノ詳細ハ左表ノ如シ

科 目	金 額	科 目	金 額
雜 給 及 雜 費	1,110.00	總 計	2,220.00
内 國 旅 費	310.00		

檢疫費豫算及追加豫算

(國費支辨)

科 目	三年度既定豫算高			
	七 月	八 月	九 月	十 月
雜費	15,610	15,750	17,400	10,100
旅費	10,000	11,000	11,000	10,100
需用費	300	1,000	1,000	1,000
手當費	500	500	500	500

衛生及病院費豫算

(縣費支辨)

昭和三年度

科 目	三年度既定豫算高			
	五 月	六 月	九 月	九 月
衛生及病院費	26,920	19,120	26,920	26,920
傳染病預防費	6,620	6,620	6,620	6,620
手當費	2,620	2,620	2,620	2,620
雇員給當費	11,100	11,100	11,100	11,100
旅費	1,200	1,200	1,200	1,200
諸備給與費	1,000	1,000	1,000	1,000
藥品費	1,000	1,000	1,000	1,000
備用品費	1,000	1,000	1,000	1,000
消耗品費	1,000	1,000	1,000	1,000
圖書及印刷費	1,000	1,000	1,000	1,000
通信及運搬費	1,000	1,000	1,000	1,000
贈服費	1,000	1,000	1,000	1,000
雜費	300	300	300	300

科 目	三年度既定豫算高			
	七 月	八 月	九 月	十 月
瘧疾預防費	3,200	3,200	3,200	3,200
一時救護費	900	900	900	900
二目檢診費	3,500	3,500	3,500	3,500
三目療養所費分擔金	3,500	3,500	3,500	3,500
衛生諸費	2,500	2,500	2,500	2,500
防疫費	1,000	1,000	1,000	1,000
手當費	1,000	1,000	1,000	1,000
旅費	1,000	1,000	1,000	1,000
備用品費	900	900	900	900
消耗品費	3,200	3,200	3,200	3,200
圖書及印刷費	1,000	1,000	1,000	1,000
通信運搬費	1,000	1,000	1,000	1,000
野犬捕獲獎勵費	2,000	2,000	2,000	2,000
野犬緊留費	1,000	1,000	1,000	1,000
雜費	100	100	100	100
修繕費	100	100	100	100

(御大禮ニ直接關係ナキ衛生費豫算ハ掲載省略ス)  
 又、家畜傳染病豫防事務ニ要シタル當初豫算及追加豫算ニ就テハ既定豫算高一九、一六七圓ニ加フルニ六月、九月ニ追加豫算五、五八〇圓及二、一六三圓ヲ支出シタルハ前表ノ如クナルガ猶國費豫算三、七三三二圓ヲ受ケタリ、即チ左ノ如シ

科 目	金 額	科 目	金 額
家畜傳染病及害虫豫防費	19,700	内國旅費	6,200
家畜傳染病豫防費	19,700	消費藥品	8,500
防疫費	17,650	贈服及棄却手當	2,000
雜給	7,700		

之ヲ以テ炭疽豫防及狂犬病豫防週間實施等新規施設ノ遂行ヲ期シ總テ遺算ナキヲ得タリ。

### 第二項 御大禮ニ際シテ行ハレシ紀念事業

#### 一、衛生ニ關スル紀念事業

(市、町、村其他團體ニ於テ爲シタルモノ)

葦合警察署及其ノ管内ノ各衛生組合リ成レル衛生協議會ニ於テハ「葦合衛生」ナル會報ヲ十一月十日第一回ヲ發行シ以後毎月二十日發行スルコト、シ國民衛生思想ノ普及ニ資スルコト、セリ

神戸市東山町一、二、三、四ヶ町聯合衛生組合ハ經費三千二百圓ヲ投ジ衛生事務所ヲ建築セリ

神戸市石井町外六ヶ町聯合衛生組合事ニ於テハ經費五千八圓ヲ投ジ衛生事務所ヲ建設ス

神戸市福原町共立檢査妓組合、藝妓置屋組合ニ於テハ御大典記念並ニ花柳病豫防法實施ニ伴ヒ經費四千圓ヲ投ジ共立檢査共同保健所ナル診察機關ヲ建設ス

飾磨郡管野村ニ於テハ豫算二万四千八百圓ヲ以テ村傳染病隔離病舎ノ改築ヲ行フ

佐用郡徳久村ニ於テハ經費約六千圓ニテ隔離病舎ノ改築ヲナシタリ

同郡佐用町ニ於テハ經費約二万圓ヲ以テ隔離病舎ヲ移轉スルコト、セリ

宍粟郡管野村ニ於テハ村隔離病舎ノ建築セリ、ソノ經費一万四千七百十四圓ナリ

氷上郡沼貫村ニ於テハ經費二万一千四百圓ヲ以テ隔離病舎ノ新築ヲナセリ

城崎郡長井村ニ於テモ同ジク經費九千六百餘圓ヲ以テ隔離病舎ノ改築ニ着手シタリ

養父郡口大屋村ニ於テハ工費一万二千圓ヲ以テ隔離病舎ヲ新築スルコト、ナセリ

同郡廣谷村ニ於テハ工費千八百圓ヲ以テ隔離病舎ヲ改築セリ

津名郡鮎原村ニ於テハ經費約五百圓ヲ以テ隔離病舎ヲ改築工事中

朝來郡竹田町ニ於テハ隔離病舎ニ蒸氣消毒器ヲ購入セリ、此ノ經費三百八十五圓ヲ要セリ

掛保郡網干町新在家、興濱、餘子濱部落ニ對シ經費約二千圓ヲ以テ下水溝ヲ新設セリ

朝來郡竹田町字中下部落ハ經費三千百餘圓ヲ以テ下水溝ノ改築ヲナセリ

津名郡志筑町都志町ニ於テハ下水溝ノ完備ヲ期スル爲經費二千五百圓ヲ以テ改築工事ヲナスコト、セリ

津名郡假屋町衛生組合ニ於テハ町内下水溝ノ放修ヲナシタリ

美方郡温泉町ニ於テハ簡易水道設置ヲ計畫シ工費二千圓ヲ投ジ延長千六百尺ノ工事ヲ施セリ

城崎郡西氣村東河内部落ニ於テハ八千圓ヲ以テ簡易水道ヲ敷設セリ

養父郡八鹿町關宮村、大屋村、口大屋村、伊佐村ニ於テハ經費三万圓ヲ投ジ簡易水道ヲ敷設セリ

城崎郡内川村飯谷、及同郡港村、東北ノ兩部落ニ於テモ同ジク簡易水道ヲ敷設ス、而シテ尙同村ノ小學校及大谷部落ニ豫算九千五百圓ヲ計上シ簡

易水道ノ敷設ヲ計畫セリ

印南郡大鹽町ニ於テハ工費約三千圓ヲ投ジ町村下水溝ノ改築工事ヲナセリ

加東郡小野町ニ於テモ工費一万七千八百十二圓ヲ投ジ下水溝ノ改修工事ヲナセリ

津名郡志築町都志町ニ於テハ下水溝ヲ完備スベク二千五百圓ノ經費ヲ以テ改築工事ヲナセリ

同郡假屋町ニ於テモ衛生組合ニテ町内ノ下水溝ヲ改修セリ

掛保郡龍野町神邊村太市村東栗柄村ニ於テハ井水ノ水質試驗ヲ行ヒタリ其數約二千ニ達ス

津名郡洲本町ニ於テハ塵芥焼却場ヲ改善スベク目下敷地選定中ナリ

赤穂郡船坂村ニ於テハ從來散在セル個人墓地ヲ廢止シ部落共同墓地ヲ新設ス

赤穂郡尾崎村ニ於テトラホーム診療所ヲ同村寶壽寺内ニ設置シ醫師二名ヲ囑託シ診療ス此ノ經費ハ篤志者寄附金一万圓ヨリ生ズル利息七百圓ト村費八百圓ヲ支出スルモノナリ

美藝郡北谷村ニ於テハ村内四百五十戸ヲ五區ニ分テ、村隣ヲシテ二歳以下ノ乳幼児及母體ノ健康診斷ヲ行ヒ乳兒及母體ノ健康保護ヲナス

#### 二、衛生思想宣傳ニ關スル施設事項一般

神戸市三宮署ニ於テハ接客業者ヲ集合セシメ記念ノ懇談會ヲナス、又一般住民ニ對シ衛生宣傳ノ印刷物ヲ配布セリ

神戸市湊川料理屋庶務業組合ニ於テハ自分ノ組合内ニ於ケル衛生施設ヲ完全ナラシムル爲組合役員ニ於テ當該組合員ノ營業所ヲ毎月十八日ニ檢査スル事トシ五月ヨリ實施シツ、アリ

神戸市羽坂通三丁目ニ於テハ町會ナル有志等ニヨリ町内隅々ニ至ル迄衛生保持ノ標札ヲ樹テ衛生思想ノ普及ヲ計ルコト、セリ

姫路市ニ於テハ市内各戸ノ寢具ヲ毎月十五日ニ一回日光消毒ヲナスコトトシ現ニ實行シツ、アリ

尼ヶ崎署ニ於テハ接客業者六百名ヲ招集シ、結核豫防思想演説ノ講演會ヲナス、又、九月ニ至リ、接客業者ニ對シ衛生思想普及講演會ヲナス

明石署ニ於テハ明石市衛生組合ト提携シ衛生思想宣傳ノ爲メ、各町、毎月一回巡回講演會ヲ開催スルコト、シ現在實行シツ、アリ



西宮署ニ於テハ市醫師會ト提携講演會ヲナシタリ

武庫郡醫師會ニ於テハ結核、花柳病、法定傳染病豫防宣傳ビラ六万枚ヲ調製シ十一月一日ヨリ六日迄ニ二萬枚ヲ飛行機ニテ阪神國道沿線ニ散布シ他ハ小學校兒童ヲ通ジ各戸ニ配布セリ又同郡産婆會ニ於テハ分娩無料介助券ヲ發行シ貧困者ニ交附方部内ノ各警察署ニ囑託セリ

有馬郡三田警察署管内ニ於テハ九月一日ヨリ十月四日マデノ間ニ於テ管内十五ヶ村内、二十一ヶ所ニ於テ保健並ニ傳染病豫防心得ニ付宣傳ノ講演會ヲ開催ス、聽衆約七千五百名アリタリ

水上郡吉見村ニ於テハ塵捨箱ノ設置ナキ爲ニ今回之ヲ各戸ニ設置スルコト、ナセリ

尼ヶ崎市ニ於テハ大規模ナル大禮記念衛生展覽會ヲ八月二十二日ヨリ八月二十六日ニ至ル五日間ニ互リ開催セリ

第一室ヨリ第三室ニ至ル各室ニ、傳染病ニ關スルモノ、妊娠分娩ニ關スルモノ、乳兒幼兒ニ關スルモノ、食料品榮養品ニ關スルモノ、齒科口腔衛生ニ關スルモノ、其他種々ノ模型、衛生材料品ヲ網羅シ、又健康相談部、水質検査部ヲ設ケ、夜間ハ衛生活動寫眞ヲ開催シテ衛生思想ノ宣傳ニ努メタリ、總入場人員ハ七万九千六百五十五名ニシテ經費ハ二千六百六十三圓三十錢ナリ

神戸市ニ於テモ、十月十日ヨリ十一月十七日マデ一週間、婦人ノ趣味ト衛生博覽會ヲ開催シ、一般衛生ニ關スル模型、標本、圖解、圖表等ヲ展覽シタルガ入場人員ハ二万七千八百三十四人ヲ算ヘタリ

此ノ他御大典御舉行ヲ前ニシテ痘瘡「コレラ」「チブス」ノ發生ニ際シ、神戸市醫師會ニ於テハ無料ニテ種痘ヲナシ、或ハ豫防注射ノ需ニ應ジテ傳染病ノ豫防警戒ニ盡力シタル、又、姫路市醫師會ニ於テ腸「チブス」豫防注射ヲ無料施行シタルナド前述ノ如クナリ

### 第三項 御納入品、天覽品ノ衛生狀況

#### 一、大變ノ御儀ニ就テ御用品納入狀況

(イ) 納入品鯛鱧ニ就テ

御大變第一日ノ御儀ニ御用品トシテ鯛鱧ヲ納入シタル京都下京區間屋町ノ奈島藤助ハ本縣明石東魚町松谷源太郎及同市新濱町高見久吉ヨリ鯛ヲ調達スベク、又神戸市兵庫今出在家町織田種次郎ヨリ鱧ヲ調達スベキ趣ナルニヨリ、京都府ヨリハ本縣ニアテ過般御大禮關係府縣衛生課長會議ノ協定事項ニ基キ調達者ノ健康状態、衛生状態ニツキ禮衛第五六七號(別項照會寫參照)ヲ以テ照會アリタルヲ以テ、本縣ニテハ春野技師出張シ、織田種次郎外三十名ニ對シ檢診ヲ行ヒタルカ何レモ異常ナク健康者ト認メタリ、尙腸「チブス」豫防注射二回施行シ、糞便検査モ二回ナシタル結果ハ二回共陰性ナリキ、又調達スベキ鯛、鱧ニ就テハ本縣黒川技師此ノ調査ヲ擔當シ容器、荷作り方法及周圍ノ狀況等ニ至ルマデ詳細ニ調査ヲ逐ゲタル結果何レモ衛生上

何等支障ナキコトヲ確メタリ、之ヲ以テ直ニ京都府ヘ電報ヲ以テ、調達者及其ノ關係者及周圍ノ狀況ハ健康状態及衛生状態ニ何等支障ナキコトヲ速報シタリ。

即チ十一月九日京都ヘ通報シタル檢診ノ結果及納入品狀況ノ詳細ハ左ノ如シ。

#### 大變第一日ノ儀御用品納入者ニ對スル衛生状態調査ノ件回答

本月四日禮、東、第五六七號ヲ以テ御照會ニ係ル御用品鯛及鱧納入請負者松谷源太郎外二名及左記關係者全體ノ健康診斷ヲ行ヒタルニ何レモ健康者ト認メラレタルヲ以テ腸「チブス」豫防注射並ニ種痘施行ヲ爲シタル次第ニテ病原菌保有者ノ有無ハ目下培養検査中ニ有之尙納入スベキ生魚ハ煮沸消毒ヲ行ヒタル新調ノ箱ニ詰込ミ汽車便及新調ノ貨物自働車ニテ發送スル管ニシテ衛生上支障ナキモノト認メラレ候條此段及回答候也

追テ「コレラ」豫防注射ニ就テハ本年九、十ノ兩月中施行済ノモノニ有之此旨申添候

市内兵庫今出在家町一丁目六十五番	織田種次郎
明石市新濱町三丁目一九六	外 高見久吉
明石市東魚町二六	外 松谷源太郎

#### 作り身用 鯛 調査

- 一、鯛納入者 明石市東魚町二十六番地 松谷源太郎
- 一、納入期日
  - 第一回 十一月十日 一貫三百匁乃至一貫五百匁ノモノ十二尾
  - 第二回 十一月十一日 一貫三百匁乃至一貫五百匁ノモノ二尾
  - 第三回 十一月十五日 六百匁乃至七百匁ノモノ四〇乃至四五尾
- 一、容器 發送スル容器ハ杉板五分厚サノモノニテ作り横二尺、縦一尺二寸、深サ八寸ノモノニシテ熱湯及稀鹽酸ニテ消毒ス、容器製造者ハ未定
- 一、荷造從業者 松谷源太郎ノ外二名

一、荷造方法 池舟ニ放チタル鯛ヲ小舟ニ移シ此處ニテ殺シ前記ノ容器ニ詰メ板ニテ覆ヒ菰包トナン發送ス

一、發送日時 第一回 八十日午前三時十七分 明石發京郡列車ニテ運送ノ豫定  
第二回、十一日午前七時  
第三回、十五日午前七時

右ノ豫定ナルモ都合上自動車ヲ以テ京都へ直接發送スルヤモ知レズ  
荷造ハ全部明石海岸ニテ行フヲ以テ汚染等ノ憂ナク衛生上支障ナキモノト認ム  
一、漁先ノ状況 一兩日中ニ淡路、岩屋及明石ノ漁場ヨリ買入ノ見込ミ  
作リ身用 鯛ノ調査

一、納入者 明石市新濱町三丁目一九六番地 高見久吉  
一、納入期日及數量 第一回 十一月十日一貫四百匁乃至一貫五百匁ノモノ二十六尾  
第二回 十一月十四日五百匁乃至六百匁ノモノ九十尾乃至百尾

一、容器 發送スル容器ハ杉板五分厚サノモノニテ造リ横二尺縦一 二寸深サ八寸ノモノニテ熱湯及稀鹽酸ニテ消毒ス、容器製造者ハ未定

一、荷造方法 池舟ニ放チタル鯛ヲ小舟ニ移シ此處ニテ殺シ前記ノ容器ニ詰メテ板ニテ覆ヒ菰包トナン發送ス

一、發送日時 松谷源太郎ト同様ノ豫定  
一、周圍ノ状況 松谷源太郎ト同様  
一、漁先ノ状況 一兩日中ニ淡路岩屋及明石漁場ヨリ買入ノ見込ミナリ

納入 鯛ノ調査  
一、納入者 神戸市兵庫今出在家町一丁目六五番屋敷、織田種次郎  
一、納入期日及數量 十一月十四日 四十貫匁

一、鱧 漁 先 徳島縣小豆島及兵庫縣淡路島西海  
一、漁先ノ状況 目下漁中ナルモ發送日迄確實ニ獲收ノ見込

一、鱧、貯藏法 海中ノ池舟ニ放養ス  
一、容器 七イロ(五分厚サノ杉板ニテ縦一尺四寸、横二尺、深サ四寸ノ箱ニシテ底部ハ竹ヲ以テ造ル)

一、容器製造者 神戸市今出在家町一丁目一番屋敷ノ六五番地 保良寅吉外二名

一、荷造場 神戸市今出在家町 三菱倉庫棧橋  
一、荷造場周圍ノ状況 右棧橋ハ三菱倉庫株式會社ノ倉庫ノ西側ニシテ中四間長サ六間ノ棧橋ナリ、前方ハ七十、乃至八十坪ノ空地ニシテ一隅ニ  
三菱倉庫ノ仲仕ノ寄場バラツクアリ、他ニ小舟及魚漁材料ヲ置キ衛生上ノ支障ナキ所ト認ム

一、荷造ノ方法 前記棧橋ニテ發送二時間前ニ鯛ヲ池舟ヨリ小舟ニ移シ此處ニテ殺シ、血液ヲ充分垂シタル後、塩水ニテ洗滌シ前記ノ容器ニ詰メ  
二箱毎ニ棧ヲ付ケ細ニテ結び付ク

一、發送日時 十一月十三日、午後十二時乃至十四日午前一時頃  
一、發送ノ方法 神戸市今出在家町神戸急行荷物自動車ニテ直接京都へ運送ス  
一、荷造従業者 織田種次郎外七名

(ロ) 納入品龍野醬油ニ就テ  
御料品龍野醬油納入者山口市兵衛ノ供給者タル本縣掛保郡半田村 醬油株式會社延賀善三兵衛ノ健康狀態觀察方ヲ十一月十二日京都府ヨリ禮衛第六  
一五號ヲ以テ照會アリ、之ヲ以テ本縣ニ於テハ溜瀦技師出張シテ 醬油製造業延賀善三兵衛外家族従業者九人ニ對シ健康診斷ヲ行ヒタルニ何レモ健康  
體ニシテ何等懸念スル所無キヲ以テ十一月十四日其旨京都府へ電報ヲ以テ通知シタル

二、地方賜饌ニ就テ御用品納入狀況

(イ) 納入品清酒ニ就テ

十一月十六日地方賜饌ニ供セラルル清酒ニ就テハ本縣衛生課ヨリ上原、山野ノ兩技手武庫郡御影町及西宮市ニ出張シ左記ノ清酒ニツキ試験ヲ施行シ  
タル結果其成績何レモ良好ナルヲ認メタリ、尙納入ノ清酒及納入名左ノ如シ

清酒納入	御影町	兵庫縣	酒造組合	聯合會	酒名	製造所	氏名
白鹿	西宮市濱町	辰	本家酒造株式會社	菊正宗	武庫郡御影町	嘉納治郎右衛門	
日本盛	西宮市濱松原町	西宮酒造株式會社	白鶴	武庫郡御影町	嘉納合名會社嘉納治兵衛		
櫻正宗	武庫郡魚崎町	山邑酒造株式會社	富久娘	武庫郡西郷町	花木三二郎		
忠勇	同	若林合名會社	澤之鶴	同	石崎株式會社		

酒名	製造所	氏名
東自慢	武庫郡今津町	長部文治郎本店
大黒正宗	武庫郡御影町東明	辰馬悦藏
戎面	同	泉 仙介
白雪	川邊郡伊丹町	泉 仙介
	小西本店	ト部本店

(ロ) 地方賜儀立調理人其他關係者ノ衛生狀況  
同ジク地方賜儀ノ獻立及調理人ハ左ノ如シ

一、賜儀獻立

菓子	菊花	壹
御所蒲鉾	赤白青	參
鰯	千代結	參
栗	鼈甲焼	參
大根	守口磨	參
白蒸		一盛

一、調理人

神戸市山本通四ノ一三六	西	常	盤
神戸市宮前七十一	西	魚	善
神戸市湊一ノ四九七	常	盤	花壇
神戸市大開一ノ四〇	音	羽	花壇
神戸市山本通四ノ二二九	中	常	盤

而シテ右調理人及其關係從業ノ健康状態及衛生狀況ヲ調査スベキ爲、本縣大橋技師、内山防疫醫及上原技師、下山巡查部長之ヲ擔當シテソノ詳細ノ  
檢診ヲ行ハレ、且、菓子及蒲鉾等ノ製造狀況及着色スル色素ニ就テモ上原藥劑師、試驗ノ結果何等ノ支障無キコトヲ確メタリ、其ノ製造者左ノ如シ

菓子製造者	神戸市多聞通四丁目六六	音羽堂	鈴木	音藏
	神戸市相生町五丁目	常盤堂	前田	爲次郎

蒲鉾製造者	神戸市元町五丁目二七〇	ミヨシ屋	三笠	友次郎
蒸物製造者	神戸市兵庫魚棚町	駒屋餅店	栗山	彌五郎

而シテ尙腐敗シ易キ蒲鉾、蒸物、鰯等ノ製造店舖ニ就テ製造状態及製造日時等ニツキ十五日上原技師、下山巡查部長出張取調ベタル所今後天候ノ變  
異アルトモ茲一週間位ハ變敗ノ虞ナキモノト認メラレタリ、尙其ノ製造日時及數量左ノ如シ

神戸市元町五丁目	三好屋事	三笠	友次郎
右ハ十四日午前四時頃ヨリ製造ニ着手シ十五日午後八時頃迄ニ千九百八十本ノ製造ヲ了ルモノトス			
神戸市元町三丁目	丸竹事	安部	米吉
右ハ六、六十本ノ製造ヲ請負ヘルモノニシテ十五日午前一時頃ヨリ其ノ製造ニ着手セリ			
神戸市湊町一丁目	三笠屋事	肥後崎	大三郎
右方ニ於テハ十五日午前九時頃ヨリ製造ニ着手シ午後八時頃迄ニ六百六十本ノ製造ヲ了ルモノ、如シ			
神戸市魚棚町	駒屋	餅店	
右方ニ於テハ十四日午後ヨリ着手シ十五日八時迄ニ一万二千個ノ製造ヲ了ルモノニシテ腐敗變敗ノ虞ナキモノト認メラル			

三、天覽品製造者ノ衛生狀況

天覽品出願ヲナシタル京都東洞院渡邊郡二ノ天覽品ハ兵庫縣出石郡資母村三津合工場縮細部、能勢勝治ノ製品ニ係ルヲ以テ十月廿二日、京都府ヨリ  
禮衛第四三六號ヲ以テ(別項、照會寫參照)本人及其家族從業者ニ對スル健康診斷施行ノ結果ヲ通報スベキヤウ照會アリ、茲ニ於テ本縣ニテハ直ニ檢  
疫事務嘱託醫市原俊雄ヲ出張セシメ檢診ヲ行ハシメ、又現在天覽品ノ出品方出願中ナル、小西工場主、小西宇之介及ソノ家族從業者ニ就テモ健康診斷  
ヲナシタル所ニ工場ヲ通ジテ輕症脚氣ノ者三名アリタルノミニテ其他ハ總テ健康者ナリキ

四、御大禮地方餐儀場ニ於ケル救護

昭和三年十一月十六日御大禮地方餐儀場ニ於ケル傷病者ノ救護ニ關シテハ救護班四班ヲ編成シテ内二班ヲ式場ニアテラレタル縣立第一中學校々庭ニ  
近キ校内救護室ニ配置シ他ノ二班ヲシテ場内ヲ巡回救護セシムルコト、シ當日午前八時ヨリ全員各々部署ニ就キ救護事務ヲ開始シタル所  
脚氣一名、頭痛三名、腹痛三名、齒痛一名  
右八名ノ患者發生シ内脚氣患者ハ從前ヨリ病褥ニ在リシヲ推シテ來場セシ爲入場後間モナク病狀昂進シタルヲ以テ救護シタルモノニシテ同人ハ終ニ

式ニ列スルコトヲ得ズ終了後幸ニ付添人在リシヲ以テ自動車ニテ歸宅セシメタリ、而シテ其ノ他七名ハ何レモ輕症ニシテ夫々應急手當ヲ加ヘタル結果間モナク回復シテ無事參列スルコトヲ得タリ  
而シテ班ノ編成ハ左ノ如シ

- 第一班 大橋技師 山本警部 上原技手 看護婦
- 第二班 溜淵技師 笹間警部補 下村監吏 看護婦
- 第三班 到津技師 芦田警部補 山野監手 看護婦
- 第四班 熊野防疫醫 荒田警部補 須翁巡查部長 看護婦

五、高齢者木杯下賜式場ニ於ケル救護狀況

十一月十日、即位禮當日八十歳以上ノ高齢者ニ對シ木杯並ニ酒肴料御下賜ノ儀アリタルガ本縣ニ於テハ縣立第一高等女學校講堂ニ於テ奉授式ヲ舉行セラレタリ、當日ノ救護事務ニ關シテハ

- 大橋技師 熊野防疫醫 笹間警部補 下村防疫監吏 看護婦二名
- 之ニ當リタリ

奉授者ハ八十歳以上ノ高齢者ナルヲ以テ疲勞等ノ爲五名ノ病者ヲ出シタリ、内四名ハ頭痛、眩暈等ノ輕症患者ナリシモノハ老衰ニテ以前ヨリ臥床セシ者ナルガ當日ノ光榮ニ浴サントテ推シテ出席セン爲重体ニ陥リタルヲ以テ厚ク手當ヲナシ自動車ヲ以テ自宅ニ送り届ケタリ

六、御大禮警備ノ警察官及之ニ對スル慰問救護

御大禮警備ノ爲本縣ヨリ警部三〇名、警部補七八名、巡查部長二二名、巡查一三二名ヲ應接トシテ京都府及奈良縣へ派遣シタルガ出張以前ニ於テ之レ等總テノ警察官ニ對シテハ縣衛生課ニテ「チフス」豫防注射二回、及種痘ヲ施行シタリ  
而シテ之レ等ノ警察官ニ對シ慰問救護ノ爲、治療藥品其他必要ナル器具ヲ携帶セシメテ十一月九日ヨリ十一月廿七日迄一週間交代ニ防疫醫、藥劑師各一人ヲ出張セシメ其ノ救護ニ當ラシメタリ

即チ防疫醫及藥劑師ハ警官ノ警備交代時間ニ於テ各宿舍ヲ巡視シソノ健康状態ヲ親シク視察シタルモノナルガ僅ニ輕微ナル感冒頭痛等アリシノミニテ幸ニ病者ヲ出サズ經過シタルハ喜バシキ事ナリキ

第四項 衛生職員ニ就テ

御大禮御舉行ニ關シテハ本縣ニ於ケル衛生事務ニ就テハ衛生課長萬般ニ互リテ之ヲ總べ、「コレラ」豫防、「ペスト」豫防、痘瘡豫防、腸「チフス」其他

ノ傳染病豫防、獸疫豫防、野犬捕獲、精神病取締、飲食物取締ノ八部門ニ分タレタル事務ヲ、防疫、保健、細菌、獸畜ノ四ツノ係ニ依リテ之ヲ分掌シタリ、即チ詳細ハ左表ノ如クニシテ、御大禮衛生事務職員一覽表、及御大禮事務從事者調査書ニヨリテ明ラカナリ

御大禮衛生事務ニ從事シタル職員一覽表

職 種	職 別	職 員								
		衛生課長	防疫	保健	細菌	獸疫	野犬捕獲	精神病者	飲食物並ニ ノ取締	
衛生課長	技師	中山喜一	大橋謙二	笹間義宗	小牧利三郎	黒川義信	山本正臣	大沼建彬	新井彌之作	山本正臣
防疫	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
保健	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
細菌	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
獸疫	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
野犬捕獲	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
精神病者	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
飲食物並ニ	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
ノ取締	技師	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫	防 疫
計	技師	三	一	一	一	一	一	一	一	一

備考 一、從事職員數ハ實人員ヲ示ス  
二、從事警察官吏ハ本廳衛生課並ニ縣下各警察署勤務ノモノヲ計上ス

御大禮事務從事者調査書

自十一月三日  
至十一月廿日

事 務 種 類	従 事 日 數	勤 務	官 職	氏 名
傳染病豫防、精神病者取締、癩患者取締、牛乳取締、狂犬病取締、調度品消毒事務	一八日	本 係	地方技師	岡 田 長 一
傳染病豫防、精神病者取締	一六日	保 係	警部	山 本 正 臣
全	一八	全 係	巡查部長	下 山 山 泉





事務ノ種類	従事日数	勤務	官職	氏名
全	二七	全	全	伊賀直三
全	二七	全	全	神原兵次
全	二七	全	全	山田忠次
全	二七	全	全	福田英郎
全	二五	全	全	講村端要
全	二五	全	全	野村遠次
全	二五	全	全	林村元一
全	二五	全	全	坂口四三
全	二五	全	全	井上三郎
傳染病豫防				

大禮事務中、衛生事務分掌ニ關シテハ十月二十六日付、達第十五號、大禮事務委員部處務規定ノ第三條中保安衛生ニ關スル規定第三號乃至第五號即チ

- 三、酒僞調度品ノ衛生上ニ關スル事項
- 四、病傷者救護ニ關スル事項
- 五、其他大禮ニ關スル警備、警衛及衛生ニ關スル事項

右ノ指示事項ニ基キテ左ノ如キ事務分掌ヲ定メタリ、酒僞調度品ノ衛生上ニ關スル事項ヲ處理スル委員

同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助
衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師
大 橋 謙	山 本 正	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓
了 郎	二 宗	信 男	好 啓	野 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓

傷病者救護其ノ他一般衛生ニ關スル事項ヲ處理スル委員

同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助
衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師
大 橋 謙	山 本 正	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓
了 郎	二 宗	信 男	好 啓	野 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓

地方饗饌場ニ於ケル救護班

同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助	同 補助
衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師	衛生技師
大 橋 謙	山 本 正	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓
了 郎	二 宗	信 男	好 啓	野 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓	上 原 啓	山 本 啓

高齡者木柙下賜式場ニ於ケル救護班

警部補	須野	荒
巡查部長	須野	須野
衛生技師	熊野	熊野
防疫部長	熊野	熊野
防疫監	熊野	熊野
看護婦	熊野	熊野

地方賜價ニ關スル事務従事者調査書

従事日數	官職	氏名	従事日數	官職	氏名
六	警部	山本正臣	五	防疫監吏	下林玄秀
五	技師	大橋謙二	一	衛生技師	溜淵眞之
二	警部補	菅田福太郎	一	衛生技師	到津公一
五	全警	荒田義次	一	衛生技師	渡邊忠士
三	巡査部長	下間義宗	一	看護婦	重見澤太郎
二	全防	須野俊香	一	看護婦	山本みづみ
二	全防	熊野了	一	看護婦	住本ひさみ
七	藥劑師	上原好信	一	看護婦	大前こよし
七	全藥	小野野	一	看護婦	野口清子

地方賜價立調理人其他關係者ノ健康並ニ衛生狀態調査委員

衛生技師

大

橋

謙

二

御大禮警備ノ警察官慰問救護ノ爲出張シタル者ノ人名左ノ如シ

自十一月九日至同十五日	七日間	防疫	内山	上原啓
自十一月九日至同十五日	七日間	藥劑師	下原	泉男
自十一月九日至同十五日	七日間	巡査部長	高岸政	保
自十一月十五日至同二十一日	七日間	衛生技師	内津山	裴
自十一月十五日至同二十一日	七日間	衛生技師	到津山	裴
自十一月十五日至同二十一日	七日間	衛生技師	澄川	一
自十一月九日至同十九日	七日期	同	吉川	清
自十一月二十一日至同二十七日	七日期	兵庫縣技手	田川	學
自十一月二十一日至同二十七日	七日期	同	太	郎

第六篇 告示、訓、通、達等ノ寫

檢發第四六號

昭和三年三月二十四日

各 市 町 村 長 宛

痘瘡豫防警戒ニ關スル件

今秋京都ニ於テ御大典ノ行ハセラル、ニ當リ海外流行地トノ密接ナル交通關係ニヨリ屢々病毒ノ侵入ヲ見ル本病ノ豫防警戒ハ最モ緊要ナル次第ニシテ定期種痘ノ施行ニ關シテハ種痘法及同施行規則ノ主旨ニ依リ洩レナク實施セラレツ、アルコト、存候モ既ニ東京、九州方面ニハ前年來ヨリ引續キ本病ノ流行ヲ見、今ニ病毒其跡ヲ絶タザル状態ナルノミナラズ、本年一月神戸港ニ於テハ帝國汽船春丸乗組ノ船員ニシテ發病セルモノ五名ニ及ビ本縣ニ病毒ノ潜在スルノ疑アリテ何時患者發生スルヤモ難計現狀ニ有之候條本年度定期種痘ノ施行ニ關シテハ特ニ關係吏員ヲ御督勵ノ上所轄警察署長トモ協力シ本年度定期種痘者ノ精査ハ勿論、前年定期種痘洩レ又ハ不満足ナリシ者及規則第十條ノ連絡ヲ期スル等細密ナル整理調査ヲ遂ゲ、定期種痘ノ徹底的施行及本病豫防警戒上一段ノ努力ヲ拂ハレ度依命此段及通牒候也

衛通第四號

各 警 署 長

1107



痘瘡豫防警戒ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本日別紙ノ通り市町村長ニ對シ通牒相成候條此際部下ヲ督勵シテ戸口調査ヲ勵行セシメ定期種痘者又ハ未種痘者又ハ不善感者等ヲ精査通報スル等定期種痘ノ施行ニ關シ市町村長ト協力シ本病豫防警戒ニ努メラルベシ

右通達ス

昭和三年三月二十四日

兵庫縣警察部長

衛通第六號

各警察署長宛

痘瘡豫防警戒ニ關スル件

本病豫防ニ關シ定期種痘ノ徹底的施行方客月二十二日通達致置キタル處ニシテ市町村長ト協力實施セラレツ、アルト信ズルモ今ヤ全國二十府縣ニ蔓延流行シ終ニ本縣ニモ病毒侵入シテ本月十六日三原郡ニ初發患者ヲ出シタルガ次第本日別紙通報ノ如ク節磨郡ニ發生シ而モ患者ノ感染系統不明ニテ病毒ハ既ニ擴ク傳播シ居ルヤモ難計思料セラル、ノミナラズ發病以來何レモ一週間ヲ經テ漸ク發見シ共間麻疹又ハ感冒ト輕信シテ患者ニ多數出入セル事實アリ、一面流行地ノ病毒ハ交通關係其ノ他ノ物件ヲ介シテ侵襲スルコトナキヲ保セズ前記ニ患者同様何時何地ニ發生流行スルヤモ難計ヲ以テ此際市町村長並ニ醫師會、衛生組合等ト協力シテ全縣下各地一府ニ豫防警戒ヲ嚴重ニシ早期患者ノ發見ニ努ムルト共ニ接客業者、洗濯業者、府物業者、會社、工場、學校、職員等公衆衛生ニ關係アルモノ或ハ集團的場所ニアル者ニ對シテハ臨時種痘ノ實施ヲ督勵スル等、本病豫防撲滅上運算ナキヲ期セラルベシ右通達ス

昭和三年四月二十三日

兵庫縣警察部長

檢發第六五號

醫師會長宛

兵庫縣警察部長

痘瘡豫防ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本日別紙ノ通り警察署長ニ對シ通達致置候ニ就テハ早期患者ノ發見並ニ種痘ノ勵行ニ關シ特ニ御配意相成様御取計相煩度此段及照會候也

兵庫縣令第二十九號

明治四十二年四月法律第三十五號種痘法第十五條ニ依リ痘瘡豫防ノ爲臨時種痘ヲ行フ

種痘ニ受クベキモノノ範圍及期日ハ告示ヲ以テ指定ス

昭和三年四月二十六日

兵庫縣知事

長

延

連

兵庫縣令第二十九號

明治四十二年四月法律第三十五號種痘法第十五條ニ依リ痘瘡豫防ノ爲臨時種痘ヲ行フ種痘ヲ受クベキモノノ範圍及期日ハ告示ヲ以テ指定ス

昭和三年四月二十六日

兵庫縣知事

長

延

連

檢發第七四號

昭和三年四月二十六日

知

事

內務大臣宛

痘瘡豫防ノ爲メ縣令公布ノ件報告

今秋京都ニ於テ御大典ノ行ハセラル、ニ當リ極力本病豫防警戒ニ努メ居候處本月十六日縣下三原郡榎列村ニ一名ノ患者發生シ二十二日節磨郡節磨町一名廿五日井保郡龍野町ニ一名ノ續發ヲ見タル次第ニシテ病毒散蔓ノ虞アルヲ以テ之ガ豫防撲滅ノ徹底ヲ期スル爲別紙ノ通り縣令公布致候條此段及報告候也

檢發第七五號

昭和三年四月廿六日

衛

生

課

長

各警察署長宛

臨時種痘施行ニ關スル件

目下全國各地ニ流行蔓延シ且ツ縣下ニモ發生續發ノ虞有之候本病豫防警戒ニ關シテハ既ニ屢々通達セラレタル次第モ有之充分御配意相成居ラル、事ト存候モ之レガ豫防ノ第一線ニ活動スル警察官並ニ其ノ家族ニ對シ臨時種痘ヲ受ケシムル事ハ豫防上最モ緊要ト被認候條貴署在職關係者ノ受療方御配意相成度依命此段及通牒候也

檢發第七二號

昭和三年四月二十六日

兵庫縣警察署長

各市町村長宛

痘瘡豫防警戒ニ關スル件

三月二十四日付檢發第四六號ヲ以テ定期種痘ノ徹底的施行方依命通牒相成居候處去ル十六日以來縣下三原郡榎列村、節磨郡節磨町、井保郡龍野町ニ各一

名ノ患者續發シ而モ飾磨、龍野兩町ニ發生セル患者ハ何レモ其ノ感染系統不明ニシテ病毒ハ巴ニ擴ク傳播シ居ルヤモ難計狀況ニアルヲ以テ如上町村ニ對シテハ本日縣令第二十九號ニ基キ臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレタル次第ニモ有之、且ツ全国各地ニ流行蔓延シ居ル病毒ハ交通關係及其他ノ物件ヲ介シテ侵襲シ何時何地ニ患者發生流行スルヤモ保シ難キ狀勢ニ有之候條本病豫防警戒ニ關シ特ニ一段ノ御配慮相成度依命此段及通牒候也  
兵庫縣告示第二十六十七號

昭和三年四月二十九號ニ依リ臨時種痘施行ノ範圍及期日左ノ通指定ス

昭和三年四月二十六日

兵庫縣知事

長

延

連

第一 施行地域

一、飾磨郡飾磨町、高濱村、手柄村 掛保郡龍野町

第二 種痘ヲ受クベキ者ノ範圍

一、施行地域内現住者、但シ本年ニ於テ種痘ヲ受ケタル者ヲ除ク、未ダ定期種痘ヲ終了セザル者ハ臨時種痘ノ施行ヲ以テ定期種痘ト看做ス

第三 施行期日

四月二十七日ヨリ五月十日ニ至ル

檢發第七三號

昭和三年四月二十六日

兵

庫

縣

警

察

部

長

飾磨郡飾磨町長、同高濱村長、同手柄村長、掛保郡龍野町長宛

臨時種痘施行ニ關スル件

本日本縣令第二十九號及告示第二十六十七號ヲ以テ貴町(村)内現住者ニ對シ明治四十二年四月法律第三十五號種痘法第十五條ニ依リ痘瘡豫防ノ爲臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ候ニ就テハ同法及同法施行規則ニ基キ定期種痘ノ施行ニ準ジ直ニ實施相成度依命此段及通牒候也  
衛通第七號

飾磨警 察 署 長、龍 野 警 察 署 長

其警管内飾磨郡飾磨町同郡高濱村同郡手柄村、掛保郡龍野町現住者ニ對シ痘瘡豫防ノ爲本日縣令第二十九號ニ基キ臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ別紙ノ通り町村長宛依命通牒相成候ニ就キ當該町村長ト協力シ直ニ實施セシメラルベシ

昭和三年四月二十六日

兵

庫

縣

警

察

部

長

號外

昭和三年四月二十六日

衛

生

課

長

廳 内 各 課 長 宛

臨時種痘施行ニ關スル件

目下全国各地ニ蔓延流行シツ、アル痘瘡ノ病毒ハ終ニ縣下ニ侵入シ三原、飾磨、掛保郡ニ患者發生シ、尙續發ノ虞有之ニ付四月廿六日ヨリ五月十日迄(日曜祭日ヲ除ク)午前九時ヨリ午後四時迄衛生課細菌検査所ニテ當課技術員ヲシテ廳内各課在職關係者ノ種痘ヲ施行セシムベク候條成ルベク洩レナク出頭相成度致度此段及通知候也  
檢發第七六號

昭和三年四月二十六日

學

務

部

長、警

察

部

長

公 立 中 等 學 校 長 宛

臨時種痘實施ニ關スル件

目下全國各府縣ニ發生流行シツ、アル痘瘡ハ交通關係其他ノ物件ヲ介シテ病毒遂ニ本縣ニ侵入シ、本月十六日縣下三原郡榎列村ニ一名、飾磨郡飾磨町ニ一名、二十五日掛保郡龍野町ニ一名ノ各患者續發シタルノミナラズ、病毒ハ已ニ擴ク傳染シテ何時何地ニ發生スルヤモ難計狀勢ニ有之候條此際貴校職員生徒及學校關係者等ニ對シ臨時種痘ヲ實施シ本病豫防ニ努メラレ度此段及通牒候也  
衛發第一九九號

昭和三年四月二十七日

兵

庫

縣

知

事

神 戶 稅 關 長 宛

痘瘡豫防ノ爲輸入物品取締ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ別紙ノ通り三月廿四日内務省令第七號ヲ以テ襪履、古綿、古着類、古敷物類ハ傳染病豫防法施行規則第二十二條乃至第二十四條ニ依リ消毒方法施行濟ノ帝國領事ノ證明書ヲ有スルモノニアラザレバ支那ヨリ輸入スル事ヲ禁止セラレ本年六月一日ヨリ施行ノ旨公布相成候處之レニ對スル取締方法ハ輸入禁止ノ問題ニシテ素ヨリ貴官ノ御管掌ニ候得共輸入物品陸上ニ際シ證明書添附ノ有無ニ關シテ御調査ノ結果若シ未消毒品等御發見ノ場合ハ爲參考其旨水上警察署長へ御即報相煩度此段及照會候也  
衛發第二〇〇號

昭和三年四月二十七日

衛

生

課

長

神 戶 水 上 警 察 署 長 宛

痘瘡豫防ノ爲輸入物品取締ニ關スル件

標記ノ件ニ關シ本日別紙ノ通り神戸税關長ニ照會相成候條本病豫防警戒ニ關シ遺漏ナキヲ言セラレ度依命此段及通牒候也  
追而税關長ヨリ通牒ヲ受ケラレタル場合ハ當部へ御即報相成度申添候也

檢發第七八號

昭和三年四月二十八日

各 市 長 宛

痘瘡豫防宣傳ポスター送付ノ件

刻下ニ於ケル痘瘡流行ノ狀況ニ鑑ミ擴ク一般ニ對スル注意心ヲ喚起セシメ進ンデ自ラ豫防警戒ノ法ヲ講ゼシムルハ本病豫防上最モ緊要ト認メ別途宣傳  
ポスター送附候條貴部内公衆ノ賭易キ適宜ノ場所ニ掲示シ如上目付達成ニ御配慮相成度依命此段及通牒候也

衛通第八號

警 察 署 長

痘瘡豫防警戒ニ關スル件

本病豫防警戒ニ關シテハ屢々通達致置候處刻下ニ於ケル痘瘡流行ニ鑒ミ別途宣傳ポスター印刷ノ上送附候條公衆ノ賭易キ適宜ノ場所ニ掲示シ擴ク一般  
ニ對スル注意ヲ喚起セシメ進ンデ自ラ豫防警戒ノ方途ヲ講ズル様誘導スル等本病豫防警戒ニ關シ遺漏ナキヲ期セラルベシ

檢發第七九號

昭和三年四月二十八日

内 務 省 衛 生 局 宛

痘瘡豫防宣傳ポスター送附ノ件

今回痘瘡豫防ノ目的ヲ以テポスター印刷縣下ニ配付致候條御參考迄ニ別途六十部送附候也  
兵庫縣告示第二百八十六號

昭和三年四月二十九號

依リ臨時種痘施行ノ範圍及期日左ノ通指定ス

第一、施行區域

知 事

一、川邊郡伊丹町

第二、種痘ヲ受クベキモノ、範圍

一、施行區域内現住者但シ本年ニ於テ種痘ヲ受ケタル者ヲ除ク

第三、施行期日

一、四月卅日ヨリ五月十日ニ至ル

伊 丹 警 察 署

衛通第九號

其署管内川邊郡伊丹町現住者ニ對シ痘瘡豫防ノ爲昨二十九日郡令第二十九號ニ基キ臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ別紙ノ通り町長宛依命通牒相成候ニ付當  
該町長ト協力シ直ニ實施セシメラルベシ

右通達ス

兵 庫 縣 警 察 部 長

兵庫縣告示第二百九十三號

依リ臨時種痘施行ノ範圍及期日左ノ通指定ス

知 事

昭和三年五月四日

第一、施行地域

一、城崎郡日高町 二、武庫郡魚崎町

第二、種痘ヲ受クベキ者ノ範圍

一、施行地域現住者但シ本年ニ於テ種痘ヲ受ケタル者ヲ除ク

第三、施行期日 五月五日ヨリ五月十二日ニ至ル

檢發第八九號

昭和三年五月四日

城崎郡日高町長、武庫郡魚崎署長宛

臨痘種痘施行ニ關スル件

本日本縣令第二九號ニ基キ告示ヲ以テ貴町内現住者ニ對シ痘瘡豫防ノ爲臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ候ニ就テハ種痘法及全法施行規則ニ基キ定期種痘ノ  
施行ニ準ジ直ニ實施相成 依命此段及通牒候也

衛通第一〇號

警 察 部 長

日高警察署長、御影警察署長

其署管内城崎郡日高町武庫郡魚崎町現住者ニ對シ種痘豫防ノ件本日縣令第二九號ニ基キ臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ別紙ノ通り町長宛通牒相成候ニ付當該町長ト協力シ直ニ實施セシメラルベシ  
右通達ス

昭和三年五月四日

警察部 長

檢發第九六號

昭和三年五月十二日

衛生課 長

伊丹、御影、篠山、柏原、城崎、日高、三田、龍野、網干、社、飾磨、加古川、明石、洲本、市村各警察署長宛  
種痘成績調査ニ關スル件

本年施行ノ種痘ハ例年行ハル、モノニ比シ一般ニ善感者豫想外ニ多キ事實アルヲ發見シタルガ右ハ學問上將又防疫上頗ル興味アル事實ト被存候ニ付テハ此際特ニ精密調査ヲ遂ゲ其ノ事實ヲ立證シ以テ將來ノ參考ニ供シ度候條貴署管内左記市町村及學校ニテ實施セシ種痘成績別表ニヨリ御調査ノ上御回報相煩度依命此段及通牒候也

川邊郡 伊丹町、川西町 武庫郡 魚崎町 多紀郡 篠山町 氷上郡 國領村 城崎郡 城崎町、西氣村 揖保郡 龍野町、新宮村、  
網干町 有馬郡 有馬町、三田中學校 加東郡 上東條村、小野中學校、社高等女學校 飾磨郡 飾磨町、手柄村 加古郡 加古川町、  
加古川中學校、二見町 明石市 津名郡、洲本中學校 三原郡 榎列村、市村、倭文村  
檢發第九八號

衛生課 長

昭和三年五月十五日

飾磨、龍野、伊丹、日高、御影、以上警察署長宛

臨時種痘成績調査ノ件

種痘豫防ノ爲縣令第二九號ニ基キ豫想外ニ臨時種痘ヲ施行シタル貴署管内町村ニ於ケル實施成績左表ニ依リ御調査ノ上報告相成度依命此段及通牒候也(表ハ第二篇第一項ニアリ)

兵庫縣告示第三百十七號

昭和三年四月兵庫縣令第二九號ニ依リ臨時種痘施行ノ範圍及期日左ノ通指定ス

知事

昭和三年五月十五日

第一、施行地域

一、神戸市上澤通一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、同松本通一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、同下澤通二丁目、三丁目、四丁目、同中道通二丁目、三丁目、四丁目、同大井通一丁目、二丁目、三丁目、同東山町一丁目、二丁目、三丁目、同會下山町一丁目、二丁目

第二、種痘ヲ受クベキ者ノ範圍

一、施行地域内現住者但シ本年ニ於テ種痘ヲ受ケタル者ヲ除ク

第三、施行期日 五月十六日ヨリ五月廿二日ニ至ル

衛通第十二號

淡川警察署 長

本日縣令第二九號ニ基キ告示ヲ以テ指定セラレタル其署管内現住者ニ對シ種痘豫防ノ爲臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ別紙ノ通り市長宛通牒相成候ニ付當該市長ト協力シ直ニ實施セシメ終了後其成績左記様式ニ依リ報知セラルベシ  
右通達ス

昭和三年五月十五日

警察部 長

檢發第一〇〇號

昭和三年五月十五日

警察部 長

神戶市長 宛

臨時種痘施行ニ關スル件

本日縣令第二九號ニ基キ告示ヲ以テ指定セラレタル貴市内現住者ニ對シ種痘豫防ノ爲臨時種痘ノ施行ヲ命ゼラレ候ニ就テハ種痘法及同法施行規則ニ依リ定期種痘ノ施行ニ準ジ直ニ實施相成度依命此段及通牒候也

檢發第一〇七號

昭和三年五月十八日

警察部 長

神戸市長 宛

種痘豫防ニ關スル件

全國的流行ノ傾向アル本病ハ不幸神戸市ニモ侵入シテ本月十五日及十七日ノ兩日各一名ノ患者發生シタルノミナラズ何レモ小學校生徒ニシテ症狀輕易ナリシ爲診定當日迄發疹アルニモ不拘多少ノ發熱ヲ胃シテ登校シ居リタル事實アリ從而病毒ハ之等兒童ノ接觸ニ由リ各家庭ヲ通ジ既ニ廣ク散蔓シ居ルヤモ難計此際洩レナク種痘ヲ受ケシメ個人的豫防ノ完全ヲ期セシムルハ延テ本病ヲ撲滅スル所以ニシテ防疫上最モ緊要ト存候條貴市内衛生組合等ヲ督